

## 日本化学会第 100 春季年会(2020)のお知らせ

第 100 春季年会実行委員会

第 100 春季年会(2020)は、2020 年 3 月 22 日(日)より 4 日間にわたり東京理科大学野田キャンパスにて開催いたします。

春季年会は、化学に関する学術の進歩普及・産業の発展および生活の向上を狙いとして、およそ化学という言葉が包括するあらゆる学問領域や分野からの研究者が一堂に会して日頃の研究成果を発表する場であり、その討論を通じて学術交流を奨励・促進する場でもあります。例年多くの参加者が集うこの年会では 5,500 件にも及び発表がなされますが、今回の春季年会におきましてもさらに多くの研究発表の応募を期待しています。

本号では通常の研究発表の募集に先立ち、特別枠として立案されている、産学官や産産の交流・連携のための企画「アドバンスト・テクノロジー・プログラム(ATP)」を紹介いたします。

これに加え、3 時間の枠で自由にシンポジウムを企画していただく「特別企画」、プロジェクトの成果報告など広く一般の方々も無料で聴講可能となる「コラボレーション企画」、会期中に日本滞在する著名な外国人研究者による「外国人の特別講演」、次世代を担う若手研究者による「若い世代の特別講演会」の募集を行いますので、奮ってご応募下さい。

なお、本年会のお知らせは本誌会告欄(8・10・11・1・3月号)でお伝えするとともに、最新情報をウェブサイト(<https://www.csj.jp/nenkai/>)にて随時公開していきますので、併せてご覧下さい。

主催	公益社団法人 日本化学会
共催	東京理科大学
会期	2020 年 3 月 22 日(日)~25 日(水)
会場	東京理科大学 野田キャンパス (千葉県野田市山崎 2641)
実行委員長	井手本 康 (東京理科大学理工学部・教授)
内容	アカデミック・プログラム (AP: 一般研究発表) (口頭・ポスター) アドバンスト・テクノロジー・プログラム (ATP) (口頭・ATP ポスター) 会長講演・表彰式・受賞講演・若い世代の特別講演・市民公開講座・展示会・懇親会・中長期テーマシンポジウム・特別企画・アジア国際シンポジウム・外国人の特別講演・コラボレーション企画・委員会企画 他
特筆事項	日本化学会では、年会の国際化を推進する中で英語での講演を推奨しています。会員各位のご協力で英語講演件数は顕著に増加しており、99 年会にて口頭 B 講演の英語化率は、76% となりました。 第 100 春季年会では、更なる講演の英語化率の増加を目指します。つきましては、 ・「年会発表経験者」には、引き続き英語での講演に積極的に取り組まれますことをお願いいたします。 ・「B 講演」、学術関連の「受賞講演」に該当する方には、英語での講演を強く推奨いたします。 また、ポスター発表 (AP) につきましては、ポスターパネルの英語での作成を強く推奨いたします (99 年会での英語化率は 54%)。
重要な日程	講演申込期間 2019 年 11 月 7 日~11 月 28 日 詳細は本誌 10 月号 予稿原稿提出期間 2020 年 1 月 3 日~1 月 14 日 参加予約申込期間 2020 年 1 月 9 日~2 月 19 日 詳細は本誌 1 月号 プログラム公開日 2020 年 2 月 14 日 (予定) 講演予稿集発行日 2020 年 3 月 5 日 (予定)
問合せ先	日本化学会 企画部 年会係 〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5 電話 (03) 3292-6163 FAX (03) 3292-6318 E-mail: <a href="mailto:nenkai@chemistry.or.jp">nenkai@chemistry.or.jp</a> URL : <a href="https://www.csj.jp/nenkai/">https://www.csj.jp/nenkai/</a>

アカデミック・プログラム (AP: 一般研究発表) の講演申込者および登壇者は、原則として本会会員に限ります。発表予定の方で未入会の方は、お早めに当会ウェブサイト (<http://www.chemistry.or.jp>) よりご入会の手続きをお願いいたします。入会手続きに関してのお問合せは、下記までお願いいたします。

問合せ先 日本化学会 総務部 会員担当  
〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5  
電話 (03) 3292-6169 FAX (03) 3292-6317 E-mail: [member@chemistry.or.jp](mailto:member@chemistry.or.jp)

### 1. アドバンスト・テクノロジー・プログラム (ATP)

我々が抱える社会課題は深刻化・複雑化の一途をたどり、研究分野や立場を超えた協働による解決が迫られてい

ます。アドバンスト・テクノロジー・プログラム (ATP) は持続可能社会実現に向けたイノベーション創出を目指し、新しい産学連携のあり方を議論する場です。今年度は、

IoT・エコ社会の鍵となるインフォマティクスとマテリアルを議論するT1セッション、再生可能エネルギーを活用してSDGs達成に貢献する技術を集約したT2セッション、ヘルスケア・イノベーションの新時代を拓くT3セッション、シーズ共創の具現化について議論するT4セッションを企画しています。ATPポスターはAPセッションと同一内容でも申込み可能であり、優秀講演賞（産業）へのエントリーも受け付けます。会員各位の積極的なご参加、ディスカッションを期待いたします。

**開催期間** 2020年3月22日～25日

**開催場所** 東京理科大学 野田キャンパス

### セッション概要（予定）

- 未来社会を支えるマテリアルとデザイン
  - ヒトとヒト、モノとモノをつなぐためのデバイスとマテリアル
  - SDGs時代の素材：セルロースナノファイバー
  - インフォマティクスが拓くモノ作りの新しい潮流（Ⅰ 基礎と合成応用）
  - インフォマティクスが拓くモノ作りの新しい潮流（Ⅱ 機能材料）
- 化学が導く未来のエネルギー
  - ペロブスカイト光電変換技術：実用化への課題
  - グリーン水素製造・利用の学理
  - グリーン水素利用技術：東京2020大会を中心に
  - 蓄電社会の実現へ：Eモビリティから定置型まで
  - 未利用熱利用・エネルギーハーベスティングの課題と未来
- 令和時代を拓くヘルスケア・イノベーション
  - 未来の医療機器・ライフサイエンスを支える化学材料
  - 診断・予防化学が切り拓く未来のヘルスケア
  - モダリティー新時代を築くバイオベンチャー
- シーズ共創セッション～ホンネで語ろう、産学連携の新しいカタチ～

※最新情報はウェブサイト (<https://www.csj.jp/nenkai/>) にて随時公開いたします。

## 2. 春季年会実行委員会と学術研究活性化委員会の合同企画

春季年会では、中・長期戦略に基づくシンポジウム「中長期テーマ」を6件実施予定です。

- ・ナノシート：2次元構造を有する金属錯体の科学
  - ・革新的触媒の創製：電気・光などを用いた触媒反応
  - ・生命科学における分子化学のプレゼンス
  - ・人工光合成：どの反応を目指すべきか？
  - ・次世代分子システムが拓く未来の化学
  - ・高度細胞機能を解析する分子動態計測と情報科学との融合
- 趣旨やプログラムにつきましては、ウェブサイト (<https://www.csj.jp/nenkai/>) にて随時更新いたします。また、詳細につきましては本誌1月号に掲載予定です。

## 3. 「特別企画」企画案の募集

毎年、春季年会のプログラムに「特別企画」が組み込まれ好評を得ておりますが、本年会でも会員の皆様より企画

案を下記要項により募集いたします。

特別企画は、3時間の枠内（9時30分～12時30分または13時30分～16時30分）で自由に企画いただけます。特別企画は原則として初日と最終日に開催することになっており、開催日および時間帯は実行委員会が決定いたします。企画内容は下記のいずれかを満たす企画とします。なお、実行委員会では、講演者、座長の方への謝礼、旅費等のお支払いはしておりません。あらかじめお含み置き下さい。※下記とは異なる企画を実施したい場合は、本項4.「コラボレーション企画」へお申し込み下さい。

- 産・官・学の意見交換を積極的に行うための企画
- 新分野・新領域の開拓に向けての企画で産業界からの参加が見込まれるもの
- 他分野への発展を図る企画や、学際領域を積極的に開拓するための企画
- 研究最先端のトピックスをまとめて情報提供するための企画

応募いただきました企画案は、講演企画小委員会および実行委員会にて検討し、15件程度を採択させていただきますが、企画案によっては修正をお願いする場合があります。採択された特別企画につきましては、10月末までに最終企画書を再提出いただきます。

応募の際には別枠で企画されている「中長期テーマ」および「アドバンスト・テクノロジー・プログラム (ATP)」等の内容と重複しないようにご注意ください。上記企画内容の詳細はウェブサイト (<https://www.csj.jp/nenkai/>) にてご確認ください。

なお、日本化学会では、年会の国際化を推進する中で英語での講演を推奨しています。特別企画の採否を検討するにあたっては、英語で行われる企画を優先的に採択いたします。

**開催日** 第100春季年会会期の初日もしくは最終日

**開催時間** 9時30分～12時30分もしくは13時30分～16時30分

**応募方法** 応募用紙を春季年会ウェブサイトより入手し、必要事項をご記入の上、E-mailにてご応募下さい。

- 企画タイトル（和文/英文/略称）
- 本企画に関連が深い一般講演の分野
- 本企画を今年度の春季年会で提案する理由、意義
- 趣旨文（約300字）
- プログラム案もしくは講演者案

※講演者については、あらかじめ、内諾を取って下さい。その際には、予稿原稿（2ページ）と略歴が必要であることも合わせてご連絡下さい。

- 本企画を実施する際に使用する主な言語
- 開催予定日（2020年3月22日および25日）のうち、都合の悪い時間帯をお知らせ下さい。
- 予想聴講者数
- 企画責任者氏名、所属（官学界、産業界各1名）
- ※日本化学会の個人の会員である必要がございます。
- 応募者氏名および連絡先

（勤務先所在地、電話番号、E-mail）

**締切** 2019年9月17日（火） 締切厳守

**応募先** 日本化学会 企画部 年会係  
E-mail: nenkai@chemistry.or.jp 電話 (03) 3292-6163

#### 4. 「コラボレーション企画」企画案の募集

「特別企画の趣旨とは異なるが、春季年会にてシンポジウムを実施したい」というニーズに答えるべく、春季年会とのコラボレーションを意味した「コラボレーション企画」という企画枠を用意いたしました。下記に該当する企画の場合は、企画実施料をお支払いいただく、コラボレーション企画としてお申込みが可能です。なお、本企画は、会場割付終了後に会場が空いている場合のみ開催が可能です。また、開催日および時間帯は実行委員会が決定いたします。

1. 商業的な周知（自社製品の紹介など）を目的としたシンポジウム
2. プロジェクトの成果報告を目的としたシンポジウム
3. 化学会以外の授賞式（講演、報告会）を目的としたシンポジウム など

応募いただきました企画案は、講演企画小委員会および実行委員会にて検討し、採択させていただきます。採択されたコラボレーション企画につきましては、11月初旬までに1月号会告原稿を提出いただけます。

**開催日** 全日から選択可能です。※ただし、会場が空いている場合に限る。

**開催時間** A) シンポジウム形式（9時30分～12時30分もしくは13時30分～16時30分）、  
B) ランチョン形式（11時～13時）

**主な特徴** ◆本企画の聴講者の参加登録について

春季年会の参加登録は不要です。広く一般の方や化学会と関わりのない方も無料で聴講することが可能となります。

◆開催日について

全日から選択可能です。ただし、会場割付終了後に会場が空いている場合のみ開催可能です。

**応募方法** 応募用紙を春季年会ウェブサイトより入手し、必要事項をご記入の上、E-mailにてご応募下さい。

1. 申込形式および開催希望日  
A) シンポジウム形式 B) ランチョン形式
2. 企画タイトル（和文/英文/略称）
3. 趣旨文（約300字）
4. 会場規模
5. 応募者氏名および連絡先  
（勤務先所在地、電話番号、E-mail）

**締切** 2019年9月17日(火) 締切厳守

**応募先** 日本化学会 企画部 年会係  
E-mail: nenkai@chemistry.or.jp 電話 (03) 3292-6163

#### 5. 「外国人の特別講演」候補者の推薦について

本年会会期中に日本に滞在され、これを機にご講演願える外国人候補者の推薦をお願いいたします。ご推薦いただきました候補者については、講演企画小委員会および実行委員会にて検討し、採択させていただきます。なお、実行委員会では、薄謝をお支払いするのみで、渡航費用、国内滞在費等のお支払いおよび接待はいたしかねますので、あ

らかじめお含み置き下さい。

**講演日時** 第100春季年会会期中（採択時に決定）

**講演時間** 50分

**推薦方法** 応募用紙を春季年会ウェブサイトより入手し、必要事項をご記入の上、E-mailにてご応募下さい。

1. 講演候補者名・所属・役職・国名・演題（仮題）
2. 専門（なるべく詳しく）および推薦理由
3. 略歴（年齢もお書き下さい）
4. 講演希望日（会期中で、半日単位、第3希望までお知らせ下さい。なおご希望にそえない場合もありますのであらかじめご了承下さい。例：3月23日午後）
5. 講演会場希望（特別講演用会場もしくは一般会場）
6. 推薦者氏名および連絡先（勤務先所在地、電話番号、E-mail）

**締切** 2019年9月17日(火) 締切厳守

※以後、11月中旬までは事務局へご相談下さい。

**推薦先** 日本化学会 企画部 年会係

E-mail: nenkai@chemistry.or.jp 電話 (03) 3292-6163

#### 6. 第34回若い世代の特別講演講演者募集

化学および化学技術の将来は、若い世代の双肩にかかっております。本会では毎年年会の際に若い世代の研究者を励まし、次代の化学および化学技術をさらに活性化するために標記講演会を企画し、意欲的に研究を行っている若手研究者に“特別講演”の機会を設けております。この講演に対しては、本会会長から特別講演証も贈られ、また、本誌に執筆の機会がありますので、奮ってご応募下さいますようご案内いたします。

**会期** 第100春季年会会期中

**会場** 第100春季年会会場 [東京理科大学]

**講演件数** 選考の上、20件以内（講演時間：25分+討論5分）

**応募資格** 本会に1年以上在籍する40歳以下（講演会が行われる年（2020年）の4月1日現在）の個人会員。ただし、過去に若い世代の特別講演に受賞している者および本会進歩賞を受賞している者の申込資格はない。

**応募方法** 応募用紙を春季年会ウェブサイトより入手し、必要事項をご記入の上、E-mailにてご応募下さい。

1. 講演申込書（①講演部門、②講演題目、③氏名、④生年月日、⑤会員番号、⑥所属、⑦連絡先、⑧略歴）
2. 講演内容（図表を含め2枚）
3. 講演に直接関連した発表論文リスト（学会発表、特許等を含み10件以内）
4. 申請趣旨（研究の意義と独創性を400字以内にまとめたもの）

**講演部門** 1. 物理化学、2. 無機・分析化学、3. 有機化学、4. 材料化学・高分子化学、5. 天然物化学・生体関連化学（医薬薬を含む）、6. 複合領域（情報・計算機化学、地球化学、環境化学、資源・エネルギーを含む）

**締切** 2019年9月17日(火) 締切厳守

**応募先** 日本化学会 企画部 年会係

E-mail: nenkai@chemistry.or.jp 電話 (03) 3292-6163